

主要国のなかで最低クラス
とはいえ、わが国でも、新型
コロナワクチンの高齢者への
接種が始まっています。

がんは細胞の老化といえる
病気ですから、高齢者に多い
病気です。高齢のがん患者の
なかには、接種を迷っている
方も多いのではないかと思
います。

先に結論を申し上げます
が、がん患者も基本的にはワ
クチンを受けるべきです。と
くに、私のような経過観察中
の人やサバイバーの場合、一
般の方と同じように考えてよ
いでしよう。

治療中のがん患者ではどう
でしょうか。大腸がんや乳が
んなど固形がん、血液系のが
んの患者に対して、治療の前

がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

がん患者にもワクチン効果

95%と、健康な人と遜色ない
数値に上昇していました。血
液がんの方でも60%まで増え
ていました。

2回目の「ブースト接種」
を受けなくても、健康な人で
は86%が抗体を維持できたの
に対して、固形がん患者は30
%、血液がん患者は11%にと
どまりました。

がん患者は、ブースト接種

を受ける必要があることが分
かります。

この研究では、接種後の症
状についても調べています
が、健康人よりがん患者の方
で、副反応が出にくいことが

分かりました。

初回の接種後、副反応がな
かったのは、がん患者は54%
で、健康な方の38%を上回っ
ていました。2回目でも、が
ん患者の71%で副反応があり
ませんでしたが、健康な方で
何も無いのは31%止まり。

がん患者で最も多い症状は
痛みでしたが、倦怠(けんた
い)感や頭痛といった全身の
症状は少なく、発熱はほとん
ど見られませんでした。

2回目の接種の翌日に38度
の熱を出した私とは大違い。
がん患者では、ワクチンに対
する免疫反応が弱くなってい
るからでしょう。

がん患者も2回の接種をき
ちんと受けるべきでしょう。

(東京大学特任教授)